



# 2019年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。



- 2019年3月期 第1四半期決算レビュー
- 2019年3月期 経営方針
- 2019年3月期 第1四半期主要事業進捗
- 2019年3月期 通期業績見通し



# 2019年3月期 第1四半期決算レビュー



## 創業来19期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

「第4次産業革命」の中心的な役割を果たす企業となるため、AI・IoT・Robot分野の研究開発に最大、経常利益がマイナスにならない範囲の積極的投資を実施

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期 実績	2019年3月期 第1四半期 実績	実績 前年比	2019年3月期 通期予想
売上高	867	1,051	21.2%	5,060
営業利益	135	△196	—	1~1000
経常利益	133	△197	—	1~1000
純利益	76	△147	—	0.62~620

当初計画より  
変更なし



## ■ 業績の進捗状況および通期見通し

・ 既存サービスは順調に推移しており、売上の約9割を占めるストック型のライセンス売上については、IoTプラットフォームサービス（前年比約130%）及びその他サービス（前年比約125%）を筆頭にすべてのサービスにおいてライセンス数を順調に積み上げることが出来ております。その結果、売上全体で見ても前年比で120%以上の成長となっております。

・ 利益実績としてマイナス計上という結果となっております。しかしながら、これは、戦略的に開発投資を実施するという期初からの計画どおりであり、順調に開発人員（工数）の確保が進んでいる結果であります。また、当社の売上構造は、上記のとおり、ストック型のライセンス収入で月額課金による売上が中心となっていること及びフロー型のカスタマイズ売上の検収時期が下期に集中する傾向があるため、売上は、下期偏重となります。

したがって、第一四半期の進捗状況としては、売上・利益ともに計画どおりであり、業績予想への影響は一切ございません。



# 2019年3月期 経営方針



**第4次産業革命に向け、「OPTiM Cloud IoT OS」で  
国内デファクトスタンダードを獲得し第4次産業革命を  
本格的にリードする企業を引き続き目指してまいります。**

そのために IoT/AI/Robot分野で昨年度以上の  
積極的な事業展開、及び、集中投資を行い、  
必要な事業開発を進めてまいります。

Cloud IoT OSは、あらゆる人に直感的なユーザ体験  
“IoT端末の制御・データ解析・AI・クラウドサービスとの連携”  
を提供するプラットフォームです



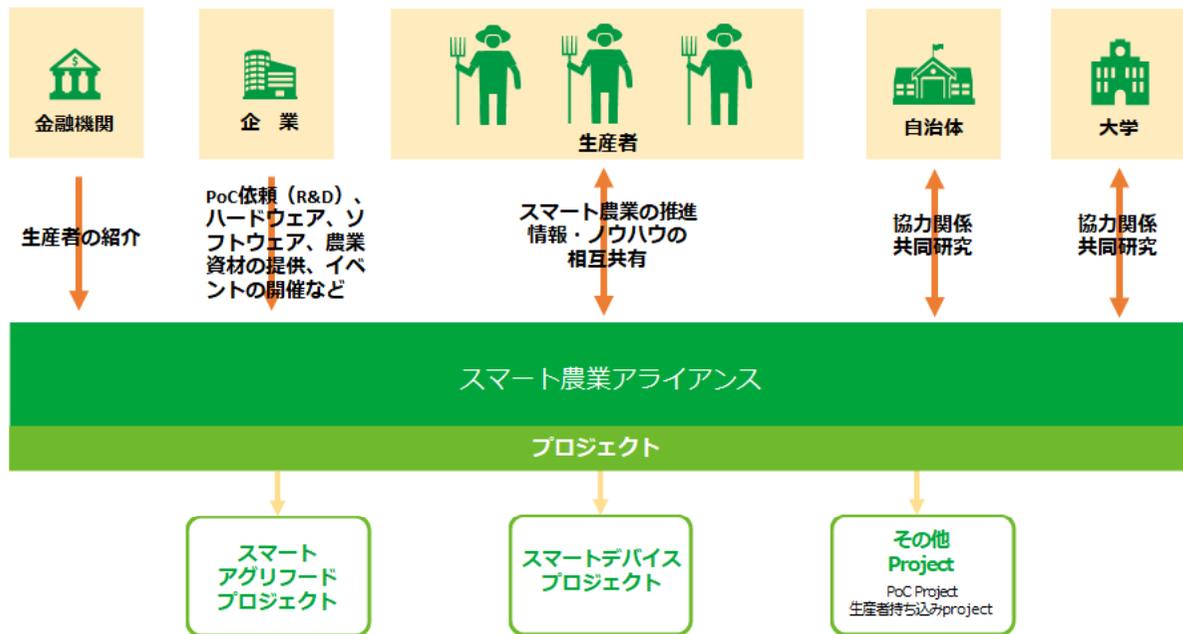
OPTiM CLOUD IoT OS



# 2019年3月期 第1四半期主要事業実績



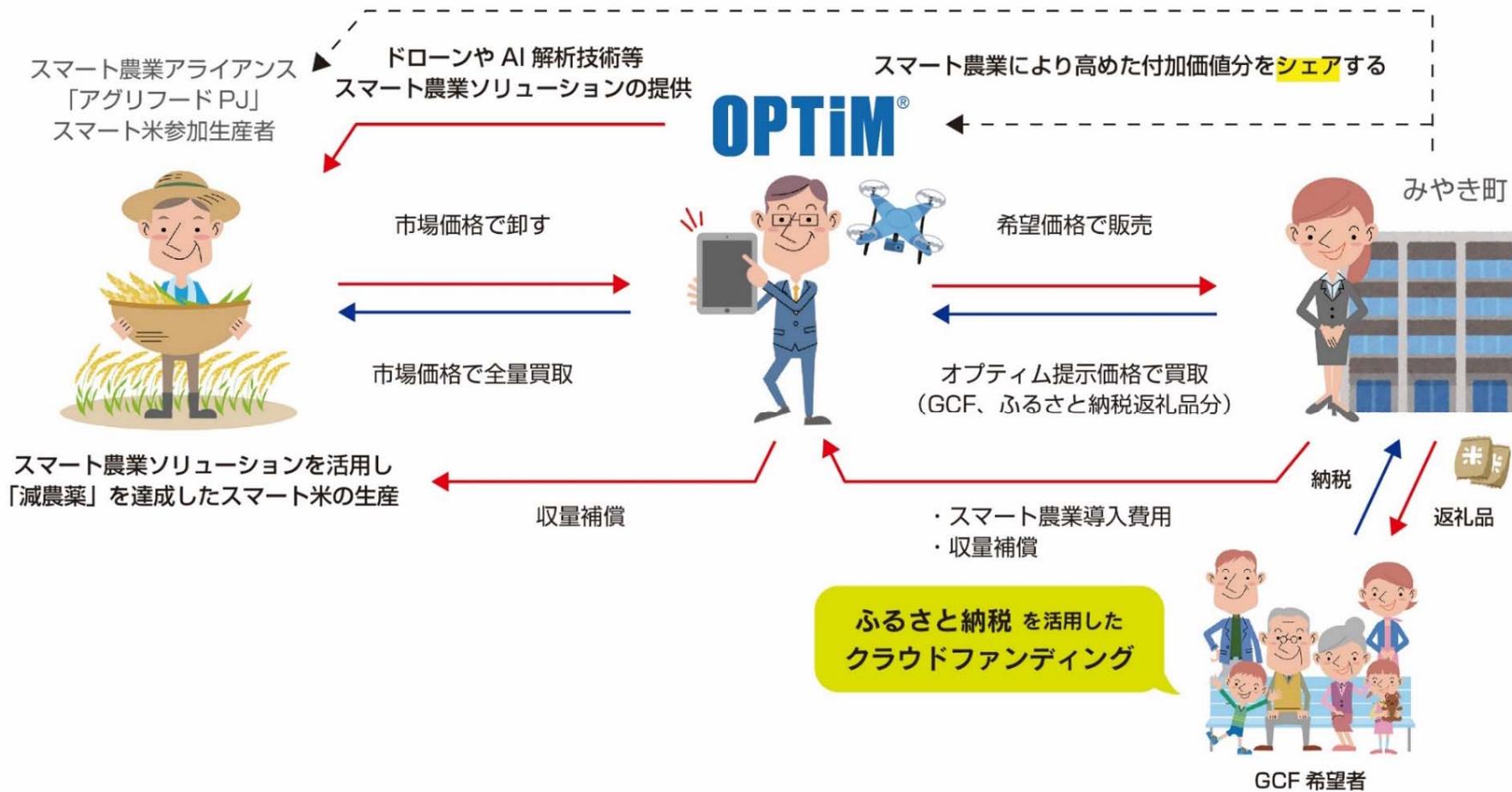
## AI・IoT・ドローンを活用した、未来志向の生産者たちが取り組む、 オプティム・スマート農業アライアンス成果発表会を実施



18品目18都道府県（全国の1/3の都道府県が参加）にてスマート農業を推進中



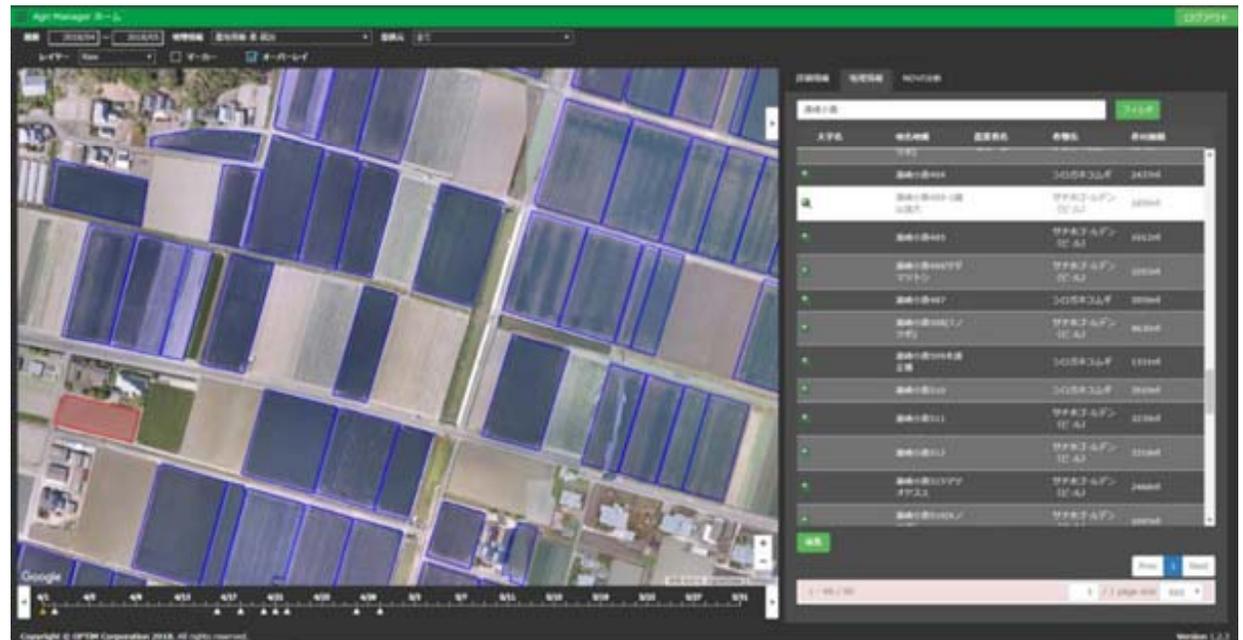
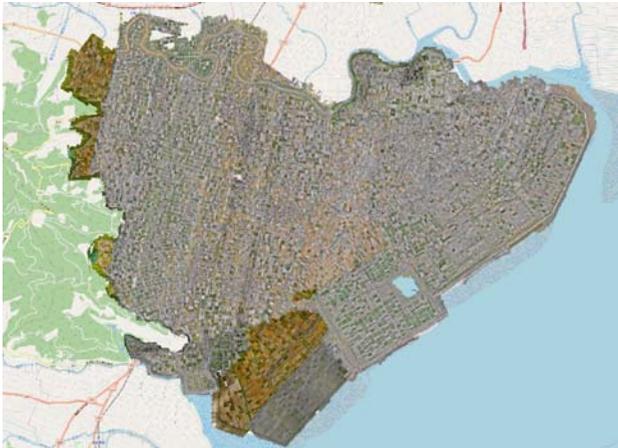
# みやき町、地方自治体で初めて「スマート農業アライアンス」へ参画



ガバメントクラウドファンディング (GCF)を活用し、スマート農業による一次産業活性化事業を推進



# オプティムと佐賀県白石町、 日本初のドローンを活用した作付確認の取り組みを実施



固定翼ドローン「OPTiM Hawk」と圃場管理サービス「Agri Field Manager」を用いて  
山地を除く町内全域、世界最大※1約8,500ヘクタールをスキャンし  
麦の作付確認の実証実験を実施

※1 2018年7月23日時点、オプティム調べ。経営所得安定対策等推進業務において、固定翼ドローンを用いて麦の農地の作付確認を実施した規模として。



# 農林水産・流通加工・食品産業向け AI・IoT・Robotプラットフォーム「AGRI EARTH」を発表

農業ビッグデータの活用を推進。WAGRIとも連携しAI・IoTによる価値創造を目指す





# オプティム、スマート林業への取り組みを開始

ドローンを用いた森林の見える化とIoTを活用したサプライチェーンの効率化を推進、  
空撮画像から資源量調査を行うサービス「Forest Scope」を提供



# ドローンパイロットシェアリングサービス 「DRONE CONNECT」β版を開始

あらゆるビジネスにプロフェッショナルドローンサービスを提供

あらゆるビジネスに  
プロフェッショナルドローンサービスを  
提供します

OPTIM<sup>®</sup>

DRONE CONNECT



### 作業内容に応じた マッチング

複数のパイロット育成企業と連携しており、プロフェッショナルパイロットを数多く有しているため、スムーズに最適なマッチングが可能です。



### 匿名での フィードバック

対応したパイロットを評価してください。あなたの評価が安全なサービス品質の向上に役立ちます。



### パイロットのプロフィール 管理は万全

我々は信頼のおけるプロフェッショナルパイロットを数多く有しています。これまでの飛行経験・飛行時間、対応機種等の詳細なパイロット情報を把握・蓄積しています。



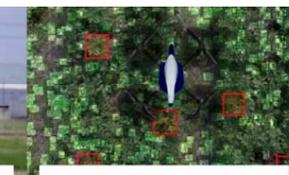
### 圃場・生育モニタリング

マルチスペクトルカメラを活用し、圃場や農作物の画像を撮影します。撮影した画像を元に、植物の生育状況（植生分析）を把握することができます。その他、施肥判断などにも活用できます。



### 農業散布

病害虫の発生時期に応じて、ドローンから空中農業散布を実施。作業負荷の高い農業散布作業をやらなくて済みます。農家のみなさまが散布したい時期にいつでも農業散布サービスをオーダー可能です。



### ピンポイント農業散布 (病害虫検知)

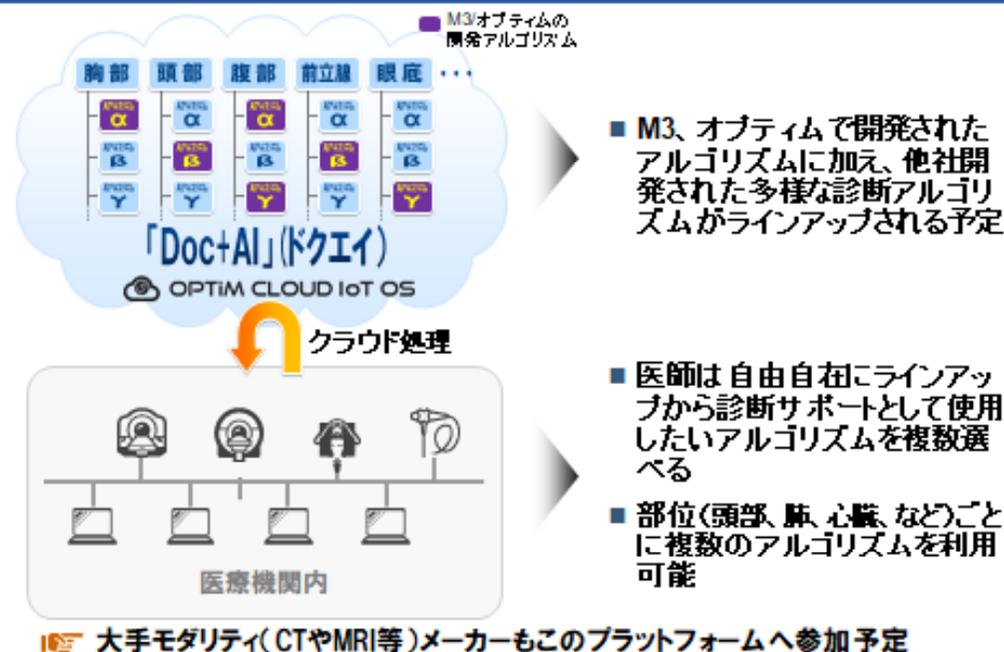
ドローンで撮影した農作物の画像をAIを用いて分析した上で病害虫の検知を行います。その結果を基にピンポイントで農業散布するサービスです。



## 医療用画像診断支援AIオープンプラットフォーム 「Doc+AI」(ドクエイ)の構築を開始

あらゆる医療向け画像診断支援AIアルゴリズムを利用可能

### AIプラットフォーム「Doc+AI」(ドクエイ)の展開





# JR東日本水戸支社管轄の常磐線 佐和駅にて「AI Physical Security Service」の実証実験を実施

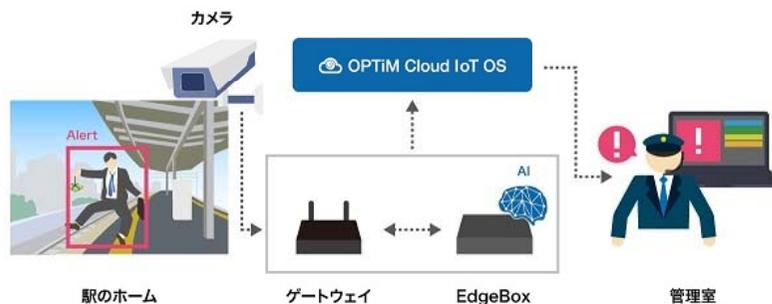
実証実験目標の90%を上回り、96.2%の検知率を達成

佐和駅での危険エリアへの侵入検知



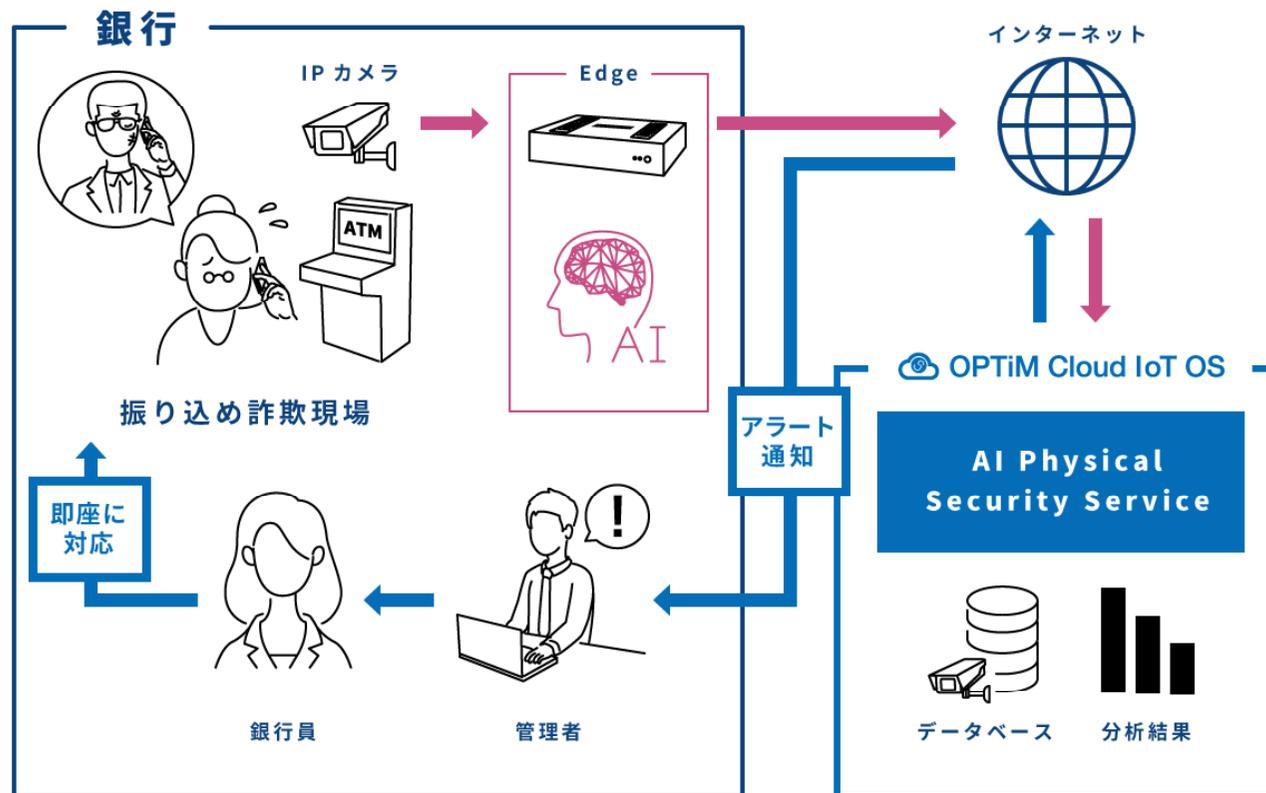
電車が駅に不在時、ホーム際の黄色い線より線路側に人もしくは物体が侵入した際にAIが検知した割合

## 「AI Physical Security Service」システムイメージ図





# AI監視カメラサービス「AI Physical Security Service」を利用した、 振り込め詐欺を防止する「ATMコーナー監視システム」を 佐賀銀行ATMコーナーで実証開始

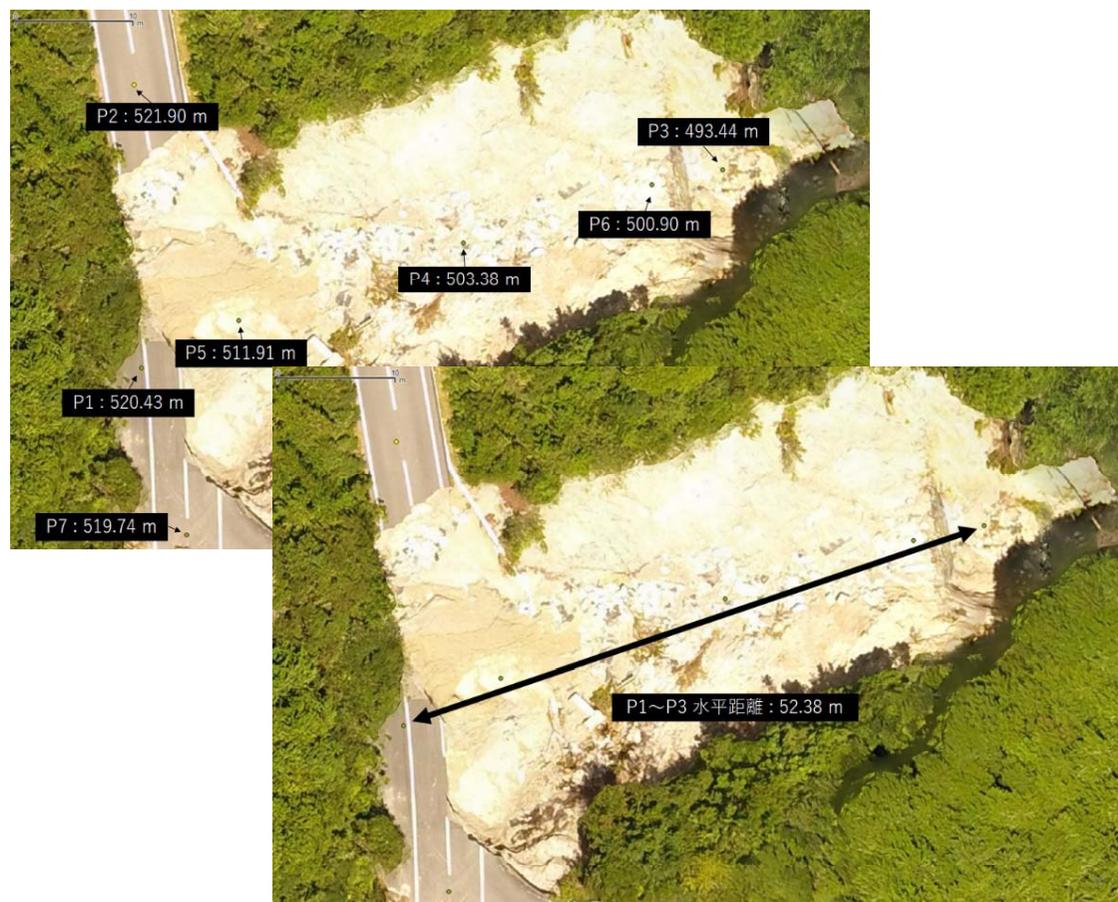


「平成30年7月豪雨」の災害支援として、「健康相談ポケットドクター」を利用した医師のオンライン健康相談を無償で実施



オプティム、ランドログ、コマツ「平成30年7月豪雨」の災害支援として、被災状況の把握を目的としたドローン測量を無償で実施

コマツの「EverydayDrone」とオプティムの「DRONE CONNECT」を活用





# 2019年3月期 通期業績見通し



(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前年比
売上高	4,210	5,060	120.2%
営業利益	401	1～1000	-99.8%～249.4%
経常利益	404	1～1000	-99.8%～247.5%
純利益	453	0.62～620	-99.9%～136.9%

- 2019年3月期の業績は、創業来19期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上50.6億（前年比売上高120.2%）は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための活動を進めてまいります。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

## 〇〇×IT戦略に対する投資継続

### 更なるAI・IoT・ロボットの技術獲得を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。

#### 研究開発投資推移イメージ





世界一、AIを実用化する企業になる

**OPTiM**

[www.optim.co.jp](http://www.optim.co.jp)

**OPTIM**